

第40期臨時大会開催！



2022年2月16日(水)新潟市中央区の(株)ウオロクホールディングス本社第一会議室にて、『第40期臨時大会』を開催しました。臨時大会を開催した経緯について、第40期定期大会の議案において、第41期から定期大会開催時期を従来の2月から10月に変更したこと、また労働組合法により会計報告を1年に1度は行わなければならないことから、臨時大会を開催しました。

なお、第41回定期大会の開催日は2022年10月19日(水)を予定しております。



今回の臨時大会では、1月から新潟県に発令されているまん延防止等重点措置や感染状況をふまえ、臨時大会の出席はリモートで行うこととし、会場には来賓および大会運営に必要な執行部役員のみとし、本臨時大会には招集代議員214名中43名(うち会場出席2名)、委任状171名、招集執行部役員22名中21名(うち会場出席10人)が出席しました。緑支部の金子 裕太議長ならびに関屋支部の日高 菜摘書記による進行で、第40期活動報告(中間報告)と、2022 総合労働条件闘争要求(案)を含む5つの議案を確認しました。第40期の詳しい活動報告(中間報告)については、2月9日(水)以降、組合員全員に配付した臨時大会の報告・議案書をご確認ください。

【執行委員長挨拶】

初めに、那須野 紀浩執行委員長より開会挨拶があり、先日起きた菓子工場での火災や、新型コロナウイルス感染症(以下コロナ)に罹患して亡くなった方々に心から哀悼の意を捧げ、一日も早く日常が取り戻せるように願っていると述べました。そしてコロナの感染が広がる中、個人がしっかりと守られている会社の体制についても感謝の意を述べました。

スーパーマーケットに従事する者すべてが、今の状況の中で生命の維持に不可欠なかけがえのない働き手(エッセンシャルワーカー)として社会の中で認められ、使命と誇りを持って働ける職場であるためにも、待遇や職場環境がさらに良くなるよう組合一丸となって取り組み、会社との共通目標である生産性を改善するためにもますます頑張りたいと述べました。

また(株)ウオロクがスーパーマーケットとして開業し60年が経とうとしており、当組合も2021年に結成40周年を迎えたなか、様々な課題に取り組んできました。その中で「いい会社になった」という声を聞く機会が増えたことは、今までの取り組みの成果であり、それに寄り添ってくれた会社の協力のおかげであると述べ、長時間労働や未申請残業などの課題については引き続き取り組み、末永く安心して60歳以降も勤められる、働いてよかったと思える会社にしていきたいと述べました。

さらに第26回参議院選挙への協力についても触れ、かわいたかのりが雇用調整助成金や悪質クレームなどの件について取り組んでくれ成果を上げていること、より良い職場環境を整えることは一つ一つの企業のみでなしえるものではないことを話し、国会で頑張ってもらうためにも参院選に向けて本年7月に行われる予定の参議院議員選挙への協力についてもお願いしました。

最後に、日々の組合活動への協力に対しあらためて感謝を述べ、今回の臨時大会を有意義な場にしたいと締めくくりました。

【来賓祝辞】

本臨時大会に、上部団体からUAゼンセン新潟県支部 支部長 飛田 博之さま、会社側から(株)ウオロクホールディングス 代表取締役社長 本多 伸一さまからご臨席いただきました。

UAゼンセン新潟県支部の飛田 博之支部長からは、感染防止対策のためオンラインからご祝辞を頂戴しました。飛田支部長から、日頃からUAゼンセンへの活動に対し参加・参画していただいている件についての御礼を頂き、現在を取り巻く状況の中で労働組合が担う役割は、特別重要であり期待がかかっているものだと述べられ、思考や行動を変えるのは難しいことだが、ひたむきに頑張り、頭を柔らかくしながら多角的な視点をもって一人一人が思考や行動を変化させ、企業の転換期等に向き合っていきたいとお話して頂きました。

また組織内議員である田村 まみの選挙への協力の御礼と、組合員一人一人の声を国政へ届け共有化することの大切さ



についてお話しして頂き、現場で働く人たちの頑張りが報われ健康的な生活を守っていただけるよう、今年行われる予定の参議院議員選挙において、かわいたかのり必勝へのお願いも述べられました。



次に(株)ウオロクホールディングスの本多 伸一代表取締役社長には会場にご臨席いただき、今までのコロナとの戦いの中で、従業員の皆さんが自らと家族を取り巻く多くの健康と、お店で働く仲間・お取引先・そしてお客様の安心と安全を守るよう努力してきたことに加え、消費行動の変化や購入先の多様化などが進む中で、今年度の利益の予算を達成可能な状態にまで持ってこられたのは、お客様目線での売場・商品づくりと心の通うサービスを提供していただいたおかげだと、改めて感謝の意を述べられました。

コロナの状況の変化や色々なものの値上げなど、先行きの不透明な中で、初夏には生鮮デリカセンターの稼働も控え、店舗についても新店の出店や改装を進めており、ウオロクが創業60周年を迎えることへの想いと、かけがえのない・地域一番である・働く一人一人が喜びを実感できるウオロクにしていきたいという決意を述べ、そのためにも日々の行動を律する組合の力は大きいものだとしたうえで、会社としても全面的に協力し、共通の目標に向かって手を携えて進んでいきたいと締めくくりました。

【報告事項】

第40期一般活動報告(中間報告)ならびに専門部活動報告(中間報告) 満場一致で可決!

公原副書記長より一般活動報告(中間報告)があり、5つ重点方針に基づき活動してきたことについて触れ、おもに労働環境改善のための総合労働条件闘争交渉や労使協議会での交渉経緯について報告し、主に大雪や自然災害を原因とした「やむを得ない欠勤」に対する年次有給休暇取得についての要望について、改善に結びつけることができた。また組織の充実、強化において、ホームページを活用した組合活動の報告や新しい取り組みである支部端末の利用について報告し、組合結成40周年記念事業や生活支援のためのCGC商品券3,000円配付について述べた。

専門部活動報告(中間報告)について、各専門部部長より1年間の活動報告があった。

※詳しい内容については、組合員全員に配付している臨時大会の報告・議案書をご確認ください。



第40期会計報告(中間報告)ならびに会計監査報告 満場一致で可決!

浅田副委員長より、第40期の会計報告(中間報告)があった。今期は大会時期変更により報告期間が20ヶ月となっていること、またコロナの影響により活動ができなかったことによる予算未達についての報告があった。

会計監査報告では、金子 南会計監査員から報告があり、第40期の会計は適正に処理されていることの報告があった。



【審議事項】

第1号議案 2022 総合労働条件闘争交渉要求 満場一致で可決!

小舟戸書記長より、私たちの働く環境がよりよくなるための13項目について内容説明と提案があった。賃金については、UAゼンセン方針である定期昇給+ベースアップで4%の引上げを要求することや最低賃金上昇による引上げ分を時給に上乗せし要求すること、その他65歳定年延長や、36協定の見直し、勤務間インターバル規制を10時間に引き上げること、失効した有給休暇を長期療養などのために積み立てられる制度構築などを提案した。



第2号議案 60歳以上への組合員範囲拡大 満場一致で可決!

那須野執行委員長より、今後60歳を迎える組合員に対し、65歳誕生日まで組合員範囲拡大をすすめる提案があった。議案書の内容には、58歳以上の対象組合員一人一人に提案文章を送付する予定と記載していたが、執行部内で検討したなかで、この内容は組合員全員に関わることであることから、文章の送付は全組合員を対象に行い、支部内の意見集約を行える内容に見直したことを報告した。支部で集めた意見集約をもとに、この議案で賛成か反対か保留の決議を行った。

第3号議案 第40期補正予算 満場一致で可決!

川崎副委員長より、第40期会計報告(中間報告)をもとに、残り8ヶ月の活動計画をもとに一部予算を補正する提案があった。支出の部において、コロナの影響による専門部の予算の見直しや、分科会設置に伴う予算を組織運営費として科目を新設したこと、また支部端末に関する科目として、システム維持管理費を新設したいことを提案した。



【お詫び】支出の部において、組織運営費と専門部費(分科会)と重複した内容が記載されているが、正しくは組織運営費である。訂正してお詫び申し上げます。



第4号議案 第40期執行部役員体制補充 無記名投票により賛成多数で可決!

那須野執行委員長より、組合活動増加に伴い、新たに執行部役員補充の提案を行った。立候補があったのは、本社支部の五伝木 崇史さんと緑支部の五十嵐 健寛さんの2名で、事前に無記名投票を行い、賛成41票・反対1票で賛成多数で承認された。

新任役員となった方々から、それぞれ自己紹介と決意表明をもらい、五伝木 崇史さんからは、今までの支部長経験を活かしながら、役員活動を通じて多くの仲間作りをして働きやすい環境を整えたいと述べ、五十嵐 健寛さんからは、皆さんの意見も聞きながら、自分の思っていることも含め労働環境の改善のために力添えしていきたいとのことであった。



第5号議案 第26回参議院議員選挙組織内議員かわいたかのり必勝決議 議長判断により可決!

米沢執行部役員より、第26回参議院議員選挙(比例代表)組織内候補者必勝決議において、議案を読み上げることにより提案し議長判断により承認された。

【最後に】

金子 裕太議長より議長退任挨拶を頂いた後、感染症対策として発声は出来ませんでしたが、那須野執行委員長の「ガンバロー三唱」に合わせて、リモート出席の方々共々拳を突き上げ、定期大会を締めくくることが出来ました。

上記の活動方針に沿って執行部一同活動して参りますが、執行部だけでなく組合員全体で、よりよい職場環境を目指し取り組んでいきましょう。

